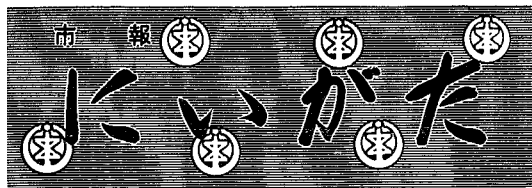


昭和56年 7月30日

国際障害者年 特 集 号



市の人口

人口	453,501	(+563)
男	222,439	(+277)
女	231,062	(+286)
世帯数	144,348	(+294)
56年6月末日現在		

発行日	毎週日曜日
発行所	新潟市役所 新潟市西通6番町 876
編集人	高橋甲子 (担当企画部広報課)
印刷所	鶴第一印刷所

ふれあい

車イスに乗り、五こがしをして得点を競うゲーム。レクリエーションを通じて障害者と健常者の交流の輪が広がります



ハンディなんかに負けないぞ

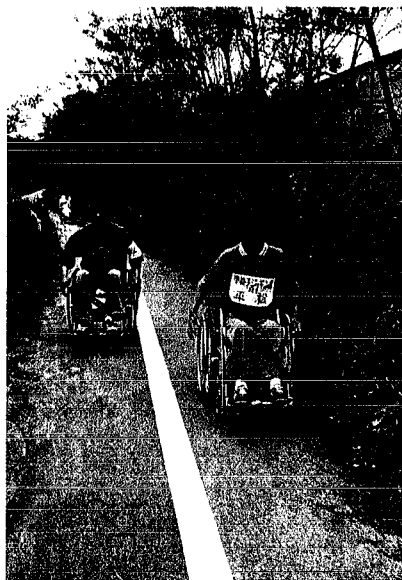
ともに手
とり合つて

障害福祉問題への市、ボランティア等市民各層のかかわりは、国際障害者年を契機に今、様々進められています。一方、障害者の多くも、「ふれあい」を求めて健常者との交流の場に積極的に参加し、何よりも、自らの障害を乗り越えようと自分なりに精一杯努力する姿勢を見せはじめています。

障害者をとりまく環境には依然厳しいものがありますが、これらの動きの中から、障害者と健常者が互いに理解し、ともに生きる、道は徐々に開かれつつあります。

本号では、障害者の皆さんが障害なんかに負けないと頑張っている姿やその現実、さらには市の取り組みなどを特集して紹介します。

一面には、さる六月二十一日行われた「車イスシヨギク大会」の障害者と健常者との交流を写真でとりあげました。



共に見つめる

楽しさの中にも満足感が……。参加者全員が目が一つの方向を見つめています。(閉会式で)



力走 障害何するものぞノ 思い思いのペースで約6%のコースを力走